

仙台大豆作情報

令和8年度第2号
令和8年7月28日発行
仙台農業改良普及センター
TEL 022-275-8410

今後の栽培管理について

① 排水対策 ② 中耕培土 ③ 雑草防除 ④ 病害虫防除 ⑤ 乾燥対策

〇気象経過

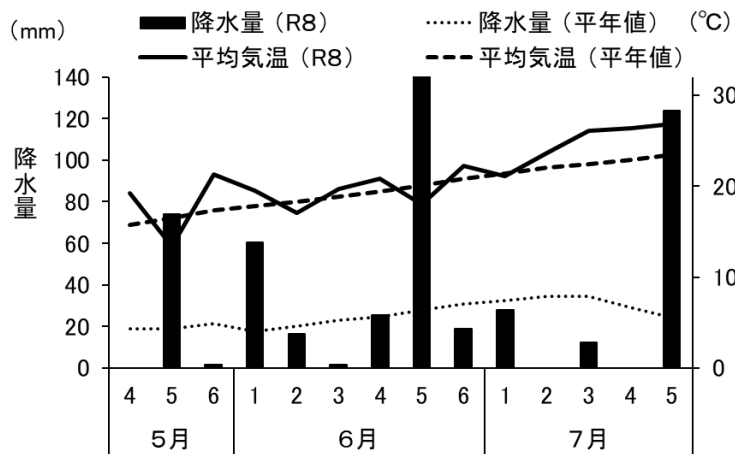


図1 降水量、平均気温の推移

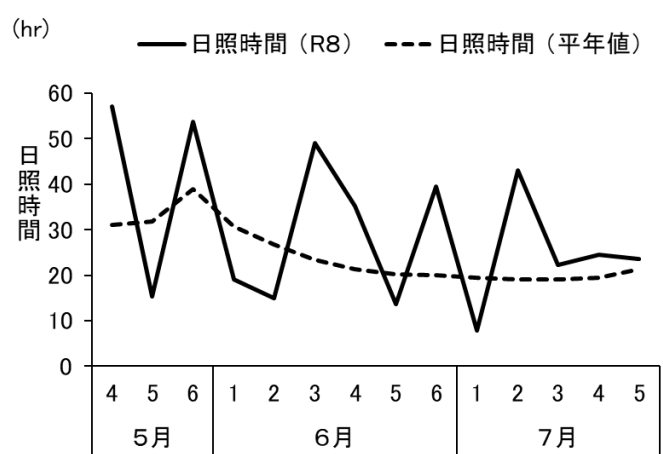


図2 日照時間の推移

- ・気温は、6月は平年並、7月以降は平年より高い傾向で推移しています。
- ・6月下旬に降雨が続き、月降水量もかなり多く、7月下旬も多くなりました。
- ・日照時間は多く推移しましたが、6月第5半旬、7月第1半旬は少なくなりました。

〇生育調査結果

表1 生育調査結果 (7月23日実施)

品種 (地区)	調査年	播種日	出芽期	主茎長 (cm)	主茎節数 (節/本)	分枝数 (本/本)
タンレイ (仙台市宮城野区岩切)	本年	6月16日	6月26日	24.7	7.8	0
	前年	6月20日	6月28日	23.0	8.1	0.6
	平年	6月15日	6月22日	33.1	8.8	0.8
ミヤギシロメ (仙台市若林区荒井)	本年	6月13日	6月24日	31.7	8.5	1.5
	前年	6月18日	6月27日	33.4	9.7	0.8
	平年	6月15日	6月23日	41.9	10.2	2.1

タンレイ、ミヤギシロメともに主茎長は平年より短く、主茎節数及び分枝数も平年より少なくなり、分枝数は少ない状況です。



写真1 タンレイ



写真2 ミヤギシロメ

○今後の栽培管理について

①排水対策

湿害により根粒菌の着生が阻害される恐れもあるので、大雨の後や降雨が続く際は、明きよの崩れがないか確認し、明きよ等の補修・点検を行うなど、排水対策を徹底しましょう。

②中耕培土

梅雨の晴れ間をみて、2回を目安に実施しましょう。

(1) 中耕培土の効果

- ①直接的効果：不定根による養水分の吸収 ・ 不定根に着生する根粒の窒素固定
- ②間接的効果：倒伏防止効果 ・ 通気性の改善 ・ 土壌中の水分保持・除草効果

(2) 中耕培土の目安

- 1回目：大豆本葉 **2～3** 葉期に**子葉節が隠れる高さ**まで
- 2回目：大豆本葉 **6～7** 葉期に**初生葉が隠れる高さ**まで
- ・生育が進んでから行くと根や茎、葉が傷ついて生育が停滞することがあります。作業は**開花の10日前までに**終わるようにしましょう。

※「開花期」：初めて開花した株が全株数の40～50%に達した日

③雑草防除

土壌処理除草剤の効果持続期間は 30 日程度であるため、草種を確認して茎葉処理除草剤を使用しましょう。

・オオイヌタデ、アメリカセンダングサ

大豆バサグラン液剤の効果が比較的高いです。アメリカセンダングサについては、草高 20cm までに散布しましょう。また、散布後に天候不順が続くと効果の発現に時間がかかることがあるので、天候を見ながら散布を行いましょう。

・帰化アサガオ類

畦間処理はグリホサート剤（ラウンドアップマックスロード、タッチダウン iQ 等）よりグルホシネート剤（バスタ液剤等）が有効ですが、蔓化前に処理することが重要です。

・アレチウリ

大豆の茎葉が条間を覆い、遮光により雑草の発生が減少するまで、手取り除草を徹底します。アタックショット乳剤を使用する場合はアレチウリの葉齢が5葉期までを目安に散布しましょう。

④病害虫防除

・紫斑病

特にタンレイは紫斑病抵抗性が弱いので**開花期から 20～40 日後**に 2 回防除を実施しましょう。管内でもアゾキシストロビン剤（アミスター20 フロアブル）の耐性菌発生が確認されています。プランダム乳剤 25、ニマイバー水和剤、トライフロアブルなどの使用を検討しましょう。

・オオタバコガ、ツメクサガ

中齢幼虫以上になると葉及び莢を加害し、被害が大きくなるので、若齢幼虫のうちに薬剤防除を実施しましょう。オオタバコガ、ツメクサガが混発している場合はフェニックスフロアブルの効果が高いです。突発的に集中発生することもあるので、ほ場を注意して見回しましょう。

・吸実性カメムシ類

病害虫防除所の発生予察によると発生量は多いとされています。開花期以降に発生が多くみられる場合は、着莢期から子実肥大中期を重点に、2 回の薬剤散布を行いましょう。

※記載した農薬は令和 8 年 7 月 24 日現在のものです。使用する際は農薬ラベルで登録内容を確認してください。

⑤乾燥対策

晴天が続くような場合には、畝間かん水で水分を供給するか、開花前から暗渠の水こうを閉じて水分保持をする等の対策を実施しましょう。

東北地方の向こう 1 か月の天候の見通し（7 月 23 日仙台管区气象台発表）

向こう 1 か月(7 月 25 日～8 月 24 日)	暖かい空気に覆われやすいため、向こう 1 か月の気温は高く、2 週目はかなり高くなる可能性があります。
1 週目（7 月 25 日～7 月 31 日）	天気は数日の周期で変わるでしょう。平均気温は平年並みの確率が 50%です。
2 週目（8 月 1 日～8 月 7 日）	天気は数日の周期で変わる予想で、平均気温は高い確率が 50%です。
3～4 週目（8 月 8 日～8 月 21 日）	天気は数日の周期で変わる予想で、平均気温は高い確率が 50%です。

■宮城県農薬危害防止運動実施中（令和 8 年 6 月 1 日から 8 月 31 日まで）

6 月から 8 月にかけて農作物等の病害虫が発生しやすく、農薬を使用する機会が最も多くなる時期です。農薬安全対策の不備や不注意等による事故が発生しやすくなるため、農薬使用による危害防止と環境に配慮した適正な農薬の使用を徹底しましょう。

- ・ラベルに記載されている適用作物、使用時期、使用方法等を十分に確認しましょう。
- ・散布後には農薬の使用履歴を記帳しましょう。

■夏の熱中症等対策声かけ期間（令和 8 年 7 月 1 日から令和 8 年 9 月 30 日まで）

スローガン『いのちをうばう、夏のひとり作業』